

学校法人京都YMCA学園  
京都YMCA国際福祉専門学校  
2017年度 学校関係者評価会 議事録

日 時： 2017年12月21日（木） 18：30～20：00

場 所： 学校法人本部仮事務所（京王三条ビル）

|      |      |                |       |
|------|------|----------------|-------|
| 出席者： | 黒木保博 | 同志社大学社会学部教授    | 学識経験者 |
|      | 山本孝  | フィットネス企画Q代表    | 本校卒業生 |
|      | 加藤俊明 | 京都YMCA国際福祉専門学校 | 校長    |
|      | 阿部和博 | 同 校            | 副校長   |

次 第： 1. 開会あいさつ 校長  
2. 学科状況報告 副校長  
3. 学校自己点検・自己評価について報告 副校長  
4. 質疑応答  
5. 閉会あいさつ 校長

内 容：

1. 開会あいさつ

学校の安全基準、学習環境改善のため耐震補強工事を行っており、授業は仮校舎（上京区）にて実施しており、工事も順調に進んでいることの報告を含めたあいさつが加藤校長よりあった。

2. 学科状況報告

外国人学生の入学者や希望者は増加しているが、福祉学科希望者が減少している。一般企業の就業率向上や人材不足により、介護業界への就職希望者が大きく減少していることが要因としてある。現在、就業先の福祉施設や京都府とも連帯して、福祉業界の魅力を伝えることで入学希望者を集めるよう努めようとしている。また、外国人介護人材の養成も今後の大きなニーズとして取り組んでいく予定にしているとの報告が阿部副校長よりあった。

3. 学校自己点検・自己評価について報告

2016年度の自己点検・自己評価についてを別紙評価表を基に以下のポイントを付加しながら阿部副校長より説明された。

前年度の委員よりのご指摘を受け、2017年度から授業科目ごとの学生授業理解度アンケートを実施している。

外国人介護人材養成スキームを企画・検討中で2018年度より受け入れることが可能なように関係機関と調整中である。校舎の老朽化に対応した耐震化工事等の修繕工事を実施中であるが、現在のところ学生の仮校舎への移動やそれに伴う交通費等の費用負担も学校で支援しており、概ね順調に進んでいる。

#### 4. 質疑応答

質疑応答を行い、以下のような改善点や問題提起等の意見があった。

- ・教育理念について学生の入学前のイメージと入学後の実態に大きなギャップがないように入学ガイダンスを重視し、より現場で働くリアリティと正しいイメージを伝える必要がある。
- ・YMCA 専門学校が他の学校とどのように違うかをカリキュラムで差をつけることが可能かを検討してほしい。科目別の授業アンケートを作り実施したことでより良いカリキュラム変更が可能となっているので大いに分析して、活用してほしい。
- ・卒業生を呼んだ特別授業を行う等卒業生のネットワークを築き、組織化してほしい。そのことにより卒業生に関しても定期的な情報を得て、次のキャリアアップ講習等の企画実施に役立てられるようにしてほしい。
- ・経済的支援が必要な学生が増えていることから学校への寄付金を集めたり、公的奨学金の情報を集めて提供する様な学生支援を充実してほしい。
- ・耐震化工事が無事に進んでいることは安全な教育環境を提供することに大いに貢献している。この際にできる限りで施設の美化と整理を行ってほしい。
- ・外国人介護人材の学生受入スキームは早期に実現してほしい。今後の介護業界は日本人だけでは担えないことは明白である。
- ・就業先のニーズにあったコース設定をすることで多くの学生を受け入れ、そのことが学校財務に寄与するという視点でPDCA サイクルを回しながら、運営の安定化に努めてほしい。
- ・社会貢献活動はYMCA の専門学校が最も得意としている活動ですので、今後も活発化させてほしい。

#### 5. 閉会

引き続き、ニーズに沿った教育内容の充実に努めることとし、次回の評価会にて進捗状況をお伝えすることとし、閉会した。

以上